

## 阿見町第7次総合計画基本構想（案）に対する意見募集の結果について

1. 実施期間 特設サイトでの募集：令和5年1月27日（金）から2月7日（火）まで
2. 提出のあった件数 8件 ※意見の要旨を踏まえ、町が分割・整理した数を件数としています。  
 ※意見のあった事項については、いただいた意見の要旨を踏まえ、町が分類したものとなります。  
 ※意見の概要については、いただいた意見を基に町が要約したものとなります。
3. 意見の概要と意見に対する町の考え方

| 整理番号 | 提案者       | ページ  | 意見のあった事項          | 意見の概要                                                                                                                                                                                      | 意見に対する町の考え方                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------|-----------|------|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1    | 特設サイト（一般） | P1   | まちづくりの基本理念全体について  | 全体的に大人しく総花的な印象を拭えない。阿見町の印象は、「躍動」「ダイナミック」「先進」などに代表される発展性なのではないか。そのような観点、視点での基本理念も盛り込む必要があるのではないか。「みんなで作る共生のまち」という理念は、地域福祉的発想であり、地域福祉計画で多く見受けられる。                                            | 基本理念は、町民を主役としたまちづくりの姿勢の継続性を重視しながら、SDGsやダイバーシティ&インクルージョン（多様性と包摂性）などの新たに求められる視点を加えるとともに、様々な意見聴取をもとに、審議会での議論を経て決定いたしました。10年後のまちの姿を実現するための基本目標を7つの分野に整理し、経済・社会・環境（SDGsの三側面）をバランスよく成長させることで持続可能なまちの発展につなげてまいります。                                                                                  |
| 2    | 特設サイト（一般） | P3   | 10年後のまちの姿行政経営について | 行政経営の視点を前面に押し出している。行政経営については、これまで全国の議会でも取り上げられ、長い議論の歴史がある。その結果、さまざまな修正が試みられている。そうした新たな行政経営の視点を取り入れ、説明する必要があると思われる。なぜなら、行政は効率だけを追うものではないからである。                                              | 基本計画の施策展開の中で、ご指摘いただいた視点も含め、検討してまいります。                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 3    | 特設サイト（一般） | P5～6 | 基本目標1および4について     | 地域や議会との関係について<br>「基本目標1」では、「町民と行政が一体となって協働によるまちづくりを目指す」とされ、「基本目標4」では、「町民と地域と行政が連携した・・・」になっている。地域を入れ込んだ理由の説明が必要ではないかと思われる。また、町民=議会ではないのは明白だが、議会は町民を代表するものであり、議会の位置付けについても言及が必要なのではないかと思われる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標1は協働の基本となる町民一人一人に焦点を当てておりますが、基本目標4では、災害や交通安全、防犯対策など、「地域」と連携した「共助」の取組を強く意識する必要があるため、「地域」を入れた記載としております。</li> <li>・総合計画は、町の行政分野の全てについてまとめた「行政計画」となり、「町民と行政～」と記載しております。議会は、地方自治法によりその位置づけは明確なものでありますので、総合計画の中での記載については、今後の検討事項とさせていただきます。</li> </ul> |
| 4    | 特設サイト（一般） | P5～6 | 基本目標3について         | 「現阿見町史の改定」を明記してはどうか。郷土史の根幹である現「阿見町史」は欠落がかなりあり十分なものではない。欠落を正し、阿見町の将来を背負う子ども達のためにも、昭和58年発行の現町史を、50年後改定された新町史発行を予定し、改定長期計画を作成してほしい。                                                           | 具体的な施策展開となりますので、今後の基本計画策定における参考とさせていただきます。                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 5    | 特設サイト（一般） | P6   | 基本目標4について         | 霞ヶ浦の水質の現状について、「水質浄化が進む霞ヶ浦の水辺資源…」という記載があるが、霞ヶ浦の水質の現状は、さまざまな対策が取られ、非常に悪化した水質からは改善されたが、今なお「横這い」の現状にあることは水質測定で明らかである。霞ヶ浦の水質改善については、もう少し現状を反映したものにするべきではないか。                                    | ご指摘のとおり、長期的には水質は改善してきておりますが、近年は横這いの状態です。表現を「水質浄化が進みつつある霞ヶ浦の…」に修正いたします。                                                                                                                                                                                                                       |

| 整理番号 | 提案者           | ページ | 意見のあった事項         | 意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                | 意見に対する町の考え方                                                                                                                                                                                             |
|------|---------------|-----|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6    | 特設サイト<br>(一般) | P6  | 基本目標5について        | コンパクトシティについて、人口5万人の阿見町で、コンパクトシティの形成を目指すといった場合、どのようなイメージで書かれているのか説明が必要になるのではないか。現状の阿見町の市街地形成は、明らかに3拠点化しており、それぞれの市街地に公共施設の整備も要望されている。図書館も体育館も福祉センターも子育て総合センターも役場もプールも、中心市街地にのみ集中して整備されている現状を維持するのか、それともいくつかの施設を分散化するのか、コンパクトシティの中身について明確にした方がよいのではないか。 | 国の国土形成計画の「国土のグランドデザイン2050」等では、異なる個性を持つ各地域が連携することによりイノベーションの創出を促す「対流促進型国土」の形成を図り、国土構造として「コンパクト+ネットワーク」の形成を進めることとされています。基本目標5の「コンパクトシティ～」についても、国の政策と町としての考え方との関係性等について、今後、序論、基本計画、個別注釈等で整理し、明確化を図ってまいります。 |
| 7    | 特設サイト<br>(一般) | P9  | 人口の見通し<br>人口の見通し | 全体的に、若い世代が進学や就職等のタイミングで町を離れることについて、否定的な書かれ方の印象が残る。阿見町から、大きく日本全体で活躍したり、世界に羽ばたくような人材を輩出することも非常に大事なことである。それは喜びであり誇りとなるものではないか。それを大きく支援するという視点でも記載したほうがよいのではないか。                                                                                         | ここでは阿見町の現状分析に基づき、特徴的な点を整理・記載をしております。若者の活躍や人材輩出につきましては、基本計画の施策展開の中で、ご指摘いただいた視点も含め、検討してまいります。                                                                                                             |
| 8    | 特設サイト<br>(一般) |     | 全体について           | 全体的に一般的とは思えない横文字が使用されている。特に、「バックキャストینگ」「レジリエント」は認識されないのではないか。適当な日本語に置き換える必要があるのではないか。注釈を付ければよいというのではなく、注釈を付けなければならない用語はなるべく避けるべきではないか。                                                                                                              | 基本構想では、時代潮流を踏まえた「10年後のまちの姿」を検討しており、現時点では一般化する過程にあるようなカタカナ用語や先進的な用語等も一部使用しております。カタカナ用語等については、注釈を加えるとともに、特に重要なものについては、序論の時代潮流等の中で具体的な解説を加え、理解しやすい構成としてまいります。                                              |